



岩江中だより

第 37 号
 発行日：平成 27 年 12 月 22 日
 発行：三春町立岩江中学校
 電話：0247-62-8290
 FAX：0247-62-8380
 E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【一所懸命・一隅を照らす！ ～さまざまな思いやりの心を大切に。～】

以前、それぞれの持ち場持ち場で与えられた仕事に一生懸命取り組むことの大切さについての記事を掲載したことがありますが、右の写真に関連して、少し似たような、しかも、大切な出来事がありました。

写真の中央に公道と校地の境を示す『うま』が2脚立っています。最終退勤者が並べ翌日最初の出勤者が開ける手順になっています。いつもは教頭先生が主にやってくさっています。

先日の退勤時、ある男性職員に続いて退勤しようとする、その先生は駐車場に上らず左方向の横断歩道のある方へ曲がっていきました。どうしたんだろうと眺めていると、その先生は『うま』を通路に写真のように並べてくれていました。この『うま』と駐車場の『くさり』、退勤ともなればスーと帰りたいのが心情ですが、『うま』や『くさり』は精神的に一手間にも二手間にも感じられます。

いつも遅くまで職員が帰るのを待っていてくださる教頭先生への思いやりなのか、なんとなく心が温くなる風景でした。人知れず、トイレのスリッパを直してくれる人、教室の小さなゴミを拾ってくれる人、『うま』を並べてくれる人、そんな思いやりの形もまたよいものだなあと感じました。



【上手になってきています！ ～バスケットボール大会を見てきました。～】

12月19・20日は、『みはる駒カップ』というバスケットボールの大会が三春町営体育館でありました。男子・女子バスケットボール部員、顧問、櫻井コーチ共々、これまでの練習の成果を発揮しようとがんばりました。そして、たくさんの保護者のみなさんの応援もいただきました。ありがとうございました。まだまだ成長できる選手たちです。



【第2回学校運営協議会開催！ ～学校と地域のつながりをさらに強く、深く！～】

12月16日（水）に、第2回の学校運営協議会（コミュニティスクール）が開催されました。15名の委員と2名の事務局の合計17名で構成された協議会です。

この学校運営協議会の目的については以下のとおりうたわれています。

よりよい学校づくりのためには、学校と保護者のみなさん、地域のみなさんとの連携が欠かせません。それが地域の振興にもつながってくるとも考えます。『共に』よりよい学校・地域づくりに取り組んでまいりましょう。

〈目的は〉

本運営協議会は、学校運営に関して、三春町教育委員会及び校長の権限と責任のもと、保護者及び地域住民等との信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童・生徒の健全育成に取り組むことを目的とする。

〈こんなことが話題にありました〉

(1) 平成27年度の教育活動について

① 小学校 大きな行事はほぼ終了。地域の方々との連携・つながりを大事にしていきたい。



② 中学校 運営ビジョンのもと教育活動が行われている。

(2) 平成28年度の教育課程について

① 小学校 次年度の計画立案中である。

② 中学校 今年度の活動を参考に計画づくりに取り組んでいる。

(3) 平成27年を振り返って(全体会の中で)

○小・中学校の発表会ともにたいへんすばらしい。○各区の備品等を活用してほしい。○地区の文化祭で行っているように、学校行事の活動をDVDに思い出として記録し、卒業式などで渡してはどうか。撮影がたいへんな場合は地域のできる人に依頼するのもよい。○幼稚園児はお兄さん、お姉さんにあこがれをもっている。発表会の予行でいいので、年長さんに見せてみたい。○地域1校ならではの取り組みを。○休みがちの子どもたちの学習支援についてお聞きしたい。○資源回収時、雨天時にゴミ庫の中に回収品を入れた方がいて、未回収の連絡をいただいた。見落とさないようにしたい。

(4) 平成27年を振り返って(小・中学校に分かれて)

① 小学校部会

・田畑等の活用など、環境教育の充実に関して、地域の方々に学校に入っていただきたい
・運動会の種目等に取り上げるなどして、盆踊りの踊り手を増やしていけないかという思いがある。
・盆踊りを何とかしたいというのが地域の願いだった。太鼓の叩き手なども含め、地域で育成していきたいという願いがある。
・登下校風景を見守っていると、集団で登下校しているので今後も続けていってほしい。
・児童の安全・安心のために情報共有ができてるのがよい。
・昔は盆踊りが運動会の種目にあつて、子どもたちとお年寄りが踊った。伝えていく伝統とでもいうべきものができればよい。
・以前、大雪が降ったことがあり、何人かで除雪したが、学校の対応はどのようであったのか。除雪した雪が歩道に積み上げられてしまった。
・教職員が学校周辺の通学路の除雪作業・通学路の確保に努めるとともに、地域の方々に除雪のお願いの文書を出している。町から除雪機を町内各学校に設置いただき、活用させていただいている。
・17センチ以上の積雪で役場が業者に除雪作業を依頼するシステムとなっている。
・学校から各区長さんをお願いして除雪にご協力いただいたこともある。外部作業員さんにも、いつでも児童の通学の安全のために除雪してもらえようをお願いしてある。
・田や畑の見学等に関しては、ブルーベリーの収穫などを経験させ、収穫の喜びを感じてもらえればという思いもある。
・耕作放棄地を活用するという方法もある。
・震災前はどこでもやっていたが、現在は難しい面がある。
・男女共同参画の公開授業を参観させていただいた。子どもたちの発表がすばらしかった。陸上交歓会では、小学校同士の交流がうまくいっているという印象を強く受けた。岩江小と三春小の入学生が逆転するという年がある。

② 中学校部会

・今回の卓球部新人戦優勝などを契機に、岩江中の伝統というべきものをつくってほしい。そのため、外部コーチに地域の経験者を活用するなど、スポーツに限らず、各分野で地域人材・資源の活用を図ってほしい。
・中学校から、学校だよりや各種お知らせで情報をたくさん発信していただきありがたい。今後も継続していただきたい。
・学校林「四季公園」の草刈り作業は依頼されれば地域が協力して作業に取り組むので、同窓会も含めて、退職して家にいる人も多く、声をかけてほしい。
・幼稚園に来る中学生の様子を見てみると、小さな子どもに癒されているのではと感じるところが多い。どんな子どもでも園児と接する姿には癒やしを感じられ、とてもいい表情を見せる。決まった行事だけではなく、ちょっとした時間にも来てほしいし、訪問させてもいただきたい。昔は園児が中学校を訪問し中学生と一緒に調理実習をしたこともある。園児は大きいお兄さん、お姉さんにあこがれをいっている。
・学校前のメインどおり町道10号線を明るくしようと町に要望を出している。学校からも町づくり協会などを通して要望を出してほしい。また、職場体験等で中学生がベクレルセンターなどの施設を訪問したことがあり、放射線に関する学習なども含めて、地域の人材・施設を活用してほしい。
・不登校生徒の対応は学校単独では難しい面もあるのではないかと考えるので、町として支援施設等の対応も考えていってもらいたい。そのため、地域の退職教職員などの地域人材・財産を活用してほしい。
・今後、学校支援コーディネーターの発表会がある。他地区ではコーディネーターの業務を専任でやっている。元校長先生などが多いが、岩江はセンター長が兼務している。たいへんな面が多い。学校の先生方も余裕がない現状である。地域人材の把握・活用がうまく働いていない。他市町村では、見守り隊の下校時の自宅付近への見送りなど、うまく機能しているところもある。
・学校から具体的に要望を出してもらえると協力しやすい。遠慮せずに声かけをしてほしい。
・行事等の計画段階で相談があれば、そのための人材等を紹介したりできる。
・現状が悪いわけではなく、今だからこそ、一歩踏み込んで、運営協議会が中心となり、幅と深みのある運営協議会活動をめざしたい。

【今年もお世話になりました！ ～よいお年をお迎えください。～】

子どもたちや先生方がのびのびと保護者・地域みなさんのご理解・ご協力のおかげをもちまして、第2学期終業式を迎えることができました。ありがとうございました。学校は、3年生の受験シーズン本格化、1・2年生は3年生からの学校の継承者として次のステップへの歩み出しという時期を迎えます。本年同様、来年もどうぞよろしく願いいたします。